

## 十和田市事務事業評価シート

### 【事務事業の概要】

整理番号	<b>24</b>	実施計画番号	93	
事務事業名	消費生活教育・啓発活動と消費生活		事業開始年度	
担当課名	まちづくり支援課		事務の種類(選択)	法定受託事務
根拠法令等	消費者安全法	関連事務事業		
背景や経緯等	平成21年に消費者安全法により、市町村における消費相談窓口の設置が義務づけられ、十和田市でも平成25年度から消費生活センターの開設をおこなった。全国的にも消費者被害は増えており、十和田市多数の関連詐欺事件が発生しており、十和田市消費生活センターの相談件数も急増している。			
事務事業の目的	消費者が主体的に合理的な消費生活を実践できるように助言、啓発する。			
実施状況	消費生活関係団体及び企業と合同で消費生活展を開催し、消費者に最新の消費生活情報を提供する。また、消費生活相談を実施し、商品、サービスに対する苦情、業者とのトラブル等に対して解決に向けた助言指導を行うとともに、悪質商法などの注意喚起情報を、広報や市HPを通じ広く市民に周知する。			

### 【人件費の推移】

		24年度実績	25年度実績	26年度計画
正職員	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	30	120	120
	人件費(千円)	1,080	4,320	4,320
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	246	246	369
非常勤職員	人件費(千円)	1,820	1,820	2,730

### 【事業費の推移】

事業費合計(千円)	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	2,698	3,440	2,921
うち一般財源	981	984	1,056
うち国県支出金	1,717	2,456	1,865
うち地方債			
うちその他			

### 【指標】

活動指標	活動指標名①	出前講座				
	計算式等	単位	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
		回数	0	2	5	
	活動指標名②					
	計算式等	単位	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
成果指標	成果指標名①	消費生活センター相談件数				
	計算式等	単位	24年度	25年度	26年度	
		件	目標値	50	100	225
			実績値	81	184	
			達成度(%)	162%	184%	
	成果指標名②	消費生活展等来場者数				
	計算式等	単位	24年度	25年度	26年度	
	人	目標値	2,000	3,000	3,500	
		実績値	3,000	3,000		
		達成度(%)	150%	100%		

# 十和田市事務事業評価シート

整理No	24
計画No	93

## 【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
<b>妥当性</b>	① <b>市民ニーズ等から見る妥当性</b> 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: right;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">様々な消費生活問題が多数発生している状況から、その予防策として行政が行う消費生活情報の提供、消費苦情相談や問題解決の支援は妥当性がある。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	様々な消費生活問題が多数発生している状況から、その予防策として行政が行う消費生活情報の提供、消費苦情相談や問題解決の支援は妥当性がある。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
様々な消費生活問題が多数発生している状況から、その予防策として行政が行う消費生活情報の提供、消費苦情相談や問題解決の支援は妥当性がある。										
② <b>実施主体である妥当性</b> 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2							
<b>有効性</b>	③ <b>活動指標から見る有効性</b> 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: right;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">広域の消費生活センターを平成27年4月に開設するため、相談員の増員を調整中であることから現在のところ見直しの余地はない。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	0 / 6	広域の消費生活センターを平成27年4月に開設するため、相談員の増員を調整中であることから現在のところ見直しの余地はない。	
	成果向上の余地	0 / 6								
	広域の消費生活センターを平成27年4月に開設するため、相談員の増員を調整中であることから現在のところ見直しの余地はない。									
④ <b>成果指標から見る有効性</b> 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2							
⑤ <b>事務事業の見直しの余地</b> 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
<b>効率性</b>	⑥ <b>事業費の削減の余地</b> 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: right;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常勤職員で業務の実施を行っていることから、人件費の抑制ができています。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	非常勤職員で業務の実施を行っていることから、人件費の抑制ができています。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	非常勤職員で業務の実施を行っていることから、人件費の抑制ができています。									
⑦ <b>他の事務事業との統合・連携</b> 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
⑧ <b>民間委託等</b> 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
<b>公平性</b>	⑨ <b>受益の偏り</b> 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: right;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">毎戸配布のちらし、シール等の配布や広報等による消費生活センターの周知を行っている。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	0 / 4	毎戸配布のちらし、シール等の配布や広報等による消費生活センターの周知を行っている。	
	受益者負担適正化の余地	0 / 4								
毎戸配布のちらし、シール等の配布や広報等による消費生活センターの周知を行っている。										
⑩ <b>受益者負担の見直しの余地</b> 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
<b>現在の適性</b>					<b>20 / 20</b>	<b>改善の余地</b>	<b>0 / 20</b>			

## 【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **20** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **0** 点です。

## 【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ⇒

方向性の理由
広域の消費生活センターの開設にむけ、相談員を増員し相談員の強化を図る。
今後の具体的な取組方策と狙う効果
消費生活相談を実施し、問題解決の手助けを行っていく。また、消費者情報の広報を行い、消費者意識の向上を図る。